

12月4日から10日は人権週間です

女性や外国人に対する差別、学校や職場でのいじめ、障害のある人に対する虐待、インターネットを悪用した中傷など、現在の社会は多くの人権課題を抱えています。

今回はさまざまな人権課題に取り組む人権擁護委員を紹介します。

人権擁護委員を知っていますか？



平成27年度人権啓発ポスター入選作品
南中学校2年 伴美優さん

お互いの違いを認め、自分を認める

人権擁護委員とは

人権擁護委員は法務大臣の委嘱を受けた民間の人で、現在、約14,000人が全国の各市町村に配置されており、本市では、18人の委員が人権相談・人権啓発活動などに取り組んでいます。

人権週間にちなみ開催される『じんけんフェスタ2015』では、人権擁護委員が審査した中学生人権作文優秀作品の朗読会が行われるほか、人権相談も受け付けます。



中学生人権作文優秀作品の表彰式(昨年)

人権相談って？

人権相談と聞いて、何を相談すればいいのかと難しく考えてしまうかもしれませんが。相談内容は、「変な噂を立てられた」「近隣間のトラブルの悩み」など、生活の中での困りごと全般に及びます。一人で悩まないで相談してください(詳しくは人権センターへ)。

当時、荒れていた中学校のPTA活動の中で、みんなで一丸となって人権感覚を磨く活動をしてきた経験を地域でも生かしたいと考え、人権擁護委員になりました。そのときも現在も課題に対して「何とかしたい、変えたい」という思いで活動を続けています。

人権教室や講演では、自分の考えを押しつけるのではなく、課題に向かう中で、自分自身の中にある偏見に気付き、感じ合いながら対話し、「お互いの違いを認め、自分を認める」ことの大切さを伝えています。

人権相談では、相談者の大変な状況に同情するのではなく、相手の心の声に耳を傾け、共感することが大事だと思っています。相談者の心に寄り添うことで、相談者自身が、悩みの原因に気付き、ありのままの自分を受け入れられるようになればと願っています。

活動は大変ですが、多くの人と触れ合い、語り合う中で、教えられ成長させてもらっています。



四日市人権擁護委員協議会
会長 上野尚子^{なのお}さん

上野さんは、人権擁護委員としての多年の功績が認められ、このたび、法務大臣表彰を受けました。

聞く、見る、
感じる

じんけんフェスタ 2015

場所 文化会館
料金 無料

〈12月5日(土)〉プレイベント ●映画「あん」(15:00から 第1ホール)

〈6日(日)〉●映画「あなたをずっとあいしてる」(10:00から 第1ホール)

●上野正子さん講演「偏見、差別のない社会を願って」
(10:00から 第3ホール)

●人権週間記念講演 紺野美沙子さん「今、私たちにできること
～自分を見つめて、世界を見つめる～」(14:00から 第1ホール)

※「じんけんフェスタ2015」の詳細は、広報よっかいち10月下旬号10ページに掲載しています



●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 人権・同和政策課 ☎354-8293 FAX 354-8611
人権センター ☎354-8609 FAX 354-8611
人権・同和教育課 ☎354-8253 FAX 354-8308